

保守の人も無党派の人も みんなで力あわせ

命の水と南アルプス守ろう

流域 62万人の生活用水と農業・工業用水

大井川は、県中西部の62万人分の生活用水であるとともに、茶栽培や水田・野菜・施設園芸など農業用水として1万2千畝に供給。醸造業はじめ工業用水としても地域産業に密接にかかわり、流域で生み出される総生産額は年3・7兆円に及んでいます。

流域自治体首長も「水と自然環境守れ」

知事と国交省の会談を受けて、「水の重要性、自然環境の保全の必要性をあらためて国に申し入れて」（太田順一菊川市長）、「『水資源に影響が出ない』の結論が出る前にヤード整備などに着手することは認められない」（柳沢重夫御前崎市長）などと、「命の水」を守る重要性が語られています。



水が減り節水となれば、真っ先に農業用水から減らされ、茶園に影響。お金（補償）で水は調達できない。新東名トンネル工事では栗ヶ岳の自然湧水が枯渇した。掛川市・平井寿博さん（農業）

南アルプスの自然と生態系

南アルプスは、3000m級の山々が連なり、豊かな自然と美しい景観を有する日本を代表する山岳地域。固有種、希少種も多く、生物多様性保全の観点からも重要な地域です。

南アルプスに生きる、もの言えぬすべての命に代わって訴えたい。導水路トンネルでは上流部には一滴の水も戻らない。水が失われれば、渓谷美や豊かな森が喪失し、そこに住む動植物の死滅につながる。焼津市・服部 隆さん

山に穴をあけることは、風船に穴をあけるようなもの。トンネルで貫通させれば、山体を保持している地下水が永遠に流失してしまう。100年の時間をかけ、山が砂漠化して取り返しがつかなくなる。地質学者・松島信幸さん



二度壊したら二度と元に戻らない！

沿線各地で矛盾拡大

〈長野県〉

- 用地買収困難＝現在3割程度。用地取得期限を2022年3月まで延長
- 残土処分地の確保難航＝最終処分先はほぼ未定

〈愛知県〉

- 名城非常口の異常湧水＝工事11カ月中断
- 名古屋駅周辺の用地買収難航＝期限を21年3月まで延長

〈岐阜県〉●瑞浪市内でウラン鉱床の可能性も＝最終処分方法や処分地未定

〈山梨県〉●笛吹市の天川（一級河川）で水枯れ発生。井戸水や簡易水道の水源枯渇

〈東京都〉●品川区～町田市＝「大深度地下使用の認可取り消しを求める」審査請求（沿線住民560人）